

第3学年 社会科学習指導案

平成30年2月23日（金）

1 小単元名 「変わる わたしたちの暮らし」（11時間）

2 小単元の目標と観点別評価規準

（1）小単元の目標

地域の昔の人々の生活に関心を持ち、見学や取材、資料を通して、生活の道具や地域の様子の時期による違いを調べ、人々の生活の様子との関連を考え、世田谷区や人々の生活の様子が移り変わってきたことを理解する。

（2）小単元の観点別評価規準

評価の観点	評価規準	学習過程の どこで
社会的事象についての 関心・意欲・態度	①地域の人々の生活の変化に関心を持ち、意欲的に調べている。 ②地域の人々の生活の歴史的な背景に関心を深めている。	つかむ まとめる
社会的な 思考・判断・表現	①地域の様子や人々の暮らしの変化について学習問題を捉え、予想や学習計画をもっている。 ②地域の人々の生活の変化と、道具や地域の変化との関連について考え表現している。	つかむ 調べる まとめる
観察・資料活用の 技能	①郷土資料館などを観点に基づいて見学したり、地域の方から聞き取り調査したりして、地域の生活の変化について必要な情報を集め、読み取っている。 ② 調べたことを年表や白地図、作品にまとめている。	調べる
社会的事象についての 知識・理解	①暮らしに関わる古い道具や、それを使っていたころの地域での生活の様子を理解している。 ②地域の発展やよりよい生活への願いや努力に気付いている。	調べる まとめる

3 小単元について

（1）学習指導要領との関連

本小単元は、第3学年及び第4学年の内容（5）アに基づいて設定した。

（5）地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。
ア 古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子

ここでは地域の暮らしに密着した古い道具の様子や使い方などを具体的に調べることで、道具や町の変化と共に、地域の人々の生活が変化したことを理解することが求められている。また、生活の様子の変化についても、地域の方から聞き取り調査をして具体的に調べ、「現在の自分たちの生活は祖先の努力の上に成り立っているという歴史的背景に関心をもつようにすることも大切」と示されている。自分たちの生活と比べながら、「昔があるから今がある」ことを捉えられるように導いていく必要がある。昔も今も変わらない「地域社会の発展への願い」について考えることにもつなげたい。

（2）新指導要領との関連

本単元は、新学習指導要領では「市の様子の移り変わり」に内容が改められ、交通や公共施設、土地利用

や人口、生活の道具を調べていく。現行では、暮らしに関わる道具を調べることを通して、その頃の暮らしの様子を理解していくが、今回は新指導要領の内容に迫るために地域の実態に合わせて以下の様な工夫を考えた。

1点目は、地域の土地利用の変化に着目するようにしたことである。ほとんどが農地であった等々力では、現在までの地域での生活の移り変わりを捉える上で大事な要素の一つであると捉えた。「耕地整理」によって地域は大きく姿を変えた。この事業を地元の人々が苦勞して成し遂げた歴史的背景に関心を持つようにしたいと考えた。土地利用の変化は人口増加の様子と関連している事も捉えさせたい。

2点目は、初めて歴史的な見方を学ぶ3年生に、より地域に密着した生活の変遷を捉えられるように工夫した事である。「鍬や大八車」という等々力がかつて身近であった道具、世田谷区新町（等々力小から約2km）での暮らしの様子を描いた漫画「サザエさん」を扱うことで、道具の変化と生活が関連し合っていること、地域の様子が変わっていく中で、変わらない地域の人々の願いを捉えることができると考えた。

(3) 教材について

明治期、世田谷の地域は武蔵野台地の南部に位置し水の便が悪く、多くの部分が畑地であった。主に麦、雑穀を生産し米は少なかった。近世以来、大消費地江戸へ出荷する野菜栽培が行われていた。明治維新を挟み、東京の人口はいったん減少したが再び増加し、都市の再拡大と共に周辺部の農村では新鮮な野菜類の需要が伸び、大正時代いっそう盛んになった。「農家は都心の青物市場に出荷するために真夜中に荷車で出発して明け方近くの取引で現金を得、帰りには市内で下肥を汲み取ってから戻ったのである。」（「世田谷往古來今」より）

一方で大正時代半ばから宅地の需要が増え、大正12年の関東大震災後にさらに拍車がかかり、農家によっては農業継続よりも有利と判断して郊外住宅地への転換が始まった。宅地化は大正13年から始まった「玉川村全圃耕地整理事業」によって進んでいった。地元の人々が自ら地域の改造に乗り出し、当面の畑地改良、宅地整備、道路・水路の整備を行った。しかし合意形成の困難さから時間がかかり工事終了は昭和19年、清算・登記までは昭和29年と30年間かかった。（世田谷区となったのは昭和7年から）離農した人々は商業やサービス業などに転業した。地域社会に与えた影響は大きく、新住民と旧住民との摩擦だけでなく旧住民同士の利害関係も動揺しがちで地域社会運営のための伝統的な組織が機能しないことも起きた。（「世田谷の歴史と文化」より）

世田谷区全体の人口の推移は、大正9年くらいまで3万人代であった。平成27年には90万人代へ。大正14年の世田谷地域（当時の世田谷町、駒沢町、松沢村、玉川村、千歳村、砧村）約5808ヘクタール中、農地は3525ヘクタール。（約60%が農地）

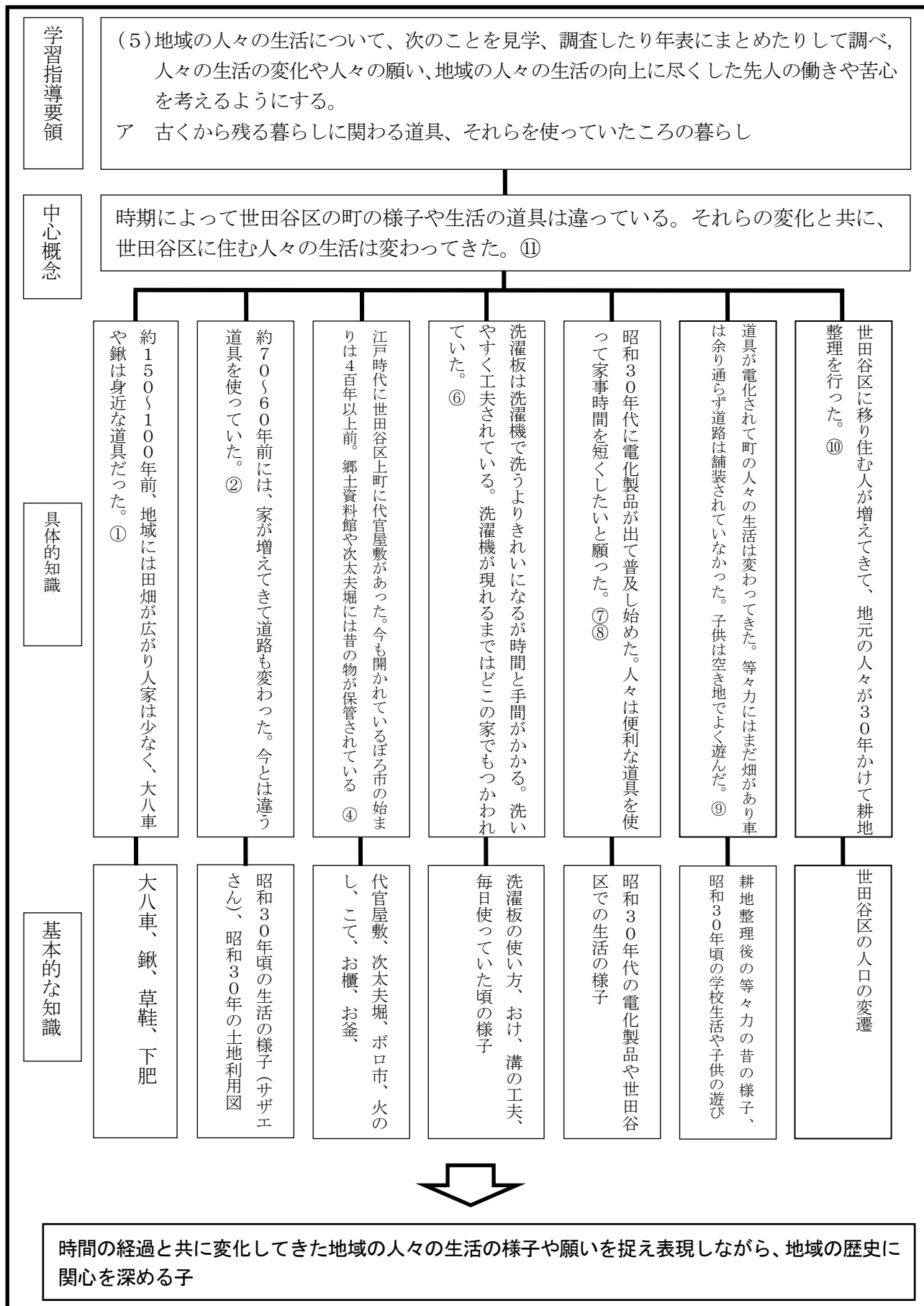
昭和40年：農家戸数1267戸、農地586ヘクタール。平成28年：農家戸数334戸、農地92ヘクタール。昭和30年：宅地56.1%、農地37.9%。平成23年：宅地66.4%、農地1.9%。因みに平成23年の合計が100%にならないのは、交通（道路他）17.3%、公共（施設・神社他）9.5%、商業6.4%、公園5.6%、空き地6% 他である。

本単元の学習を通して、自分たちの住む地域の昔の様子や人々の暮らしを3年生の子供たちが思い浮かべられ、親しみや関心を深められるようにしたい。

(4) 児童の実態について

略

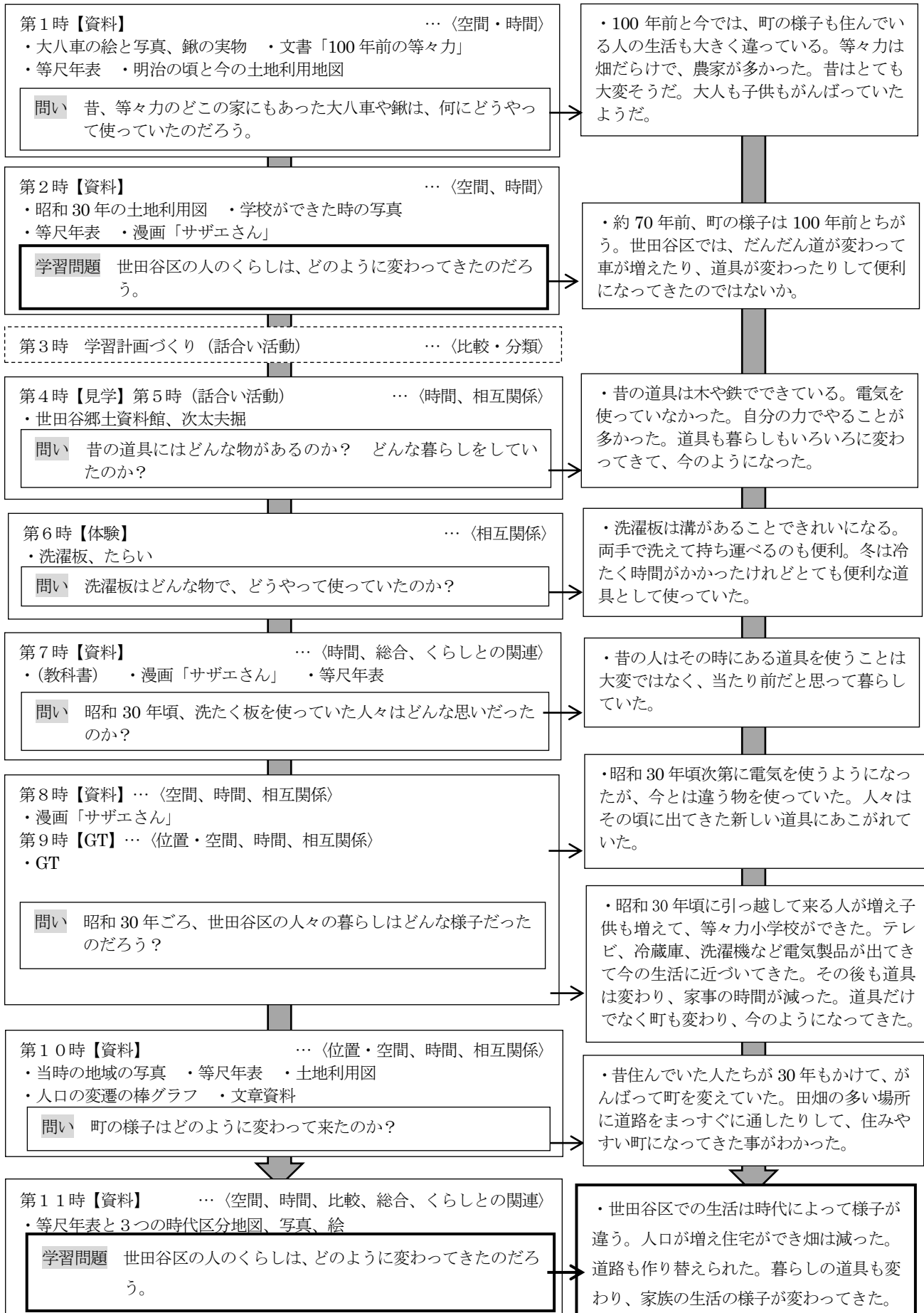
4 教材の構造図



5 問いの構造図

【社会的な見方・考え方を働かせるための資料と問い】

【目指す子供の姿】



6 研究主題との関連

＜全体研究主題＞
 よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培う社会科教育
 ～社会的事象の見方・考え方を働かせ、社会認識を深める学習を通して～

＜第3学年研究主題＞
 自分たちの地域を好きになり、よりよい地域にしたいと願う子供の育成
 ～自分と地域とのかかわりをとらえ、考えを深める指導の工夫～

全体主題を受けて、学習指導要領第3学年の目標である「思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う」ことを目指して、本研究主題を設定した。

本小単元における具体的な手立ては以下の通りである。

(1) 社会生活について理解を深め、社会との関わりを見つめ直す教材の開発

- ・時間的な視点の教材
- ・実社会とつながる教材
- ・相互関係的な視点の教材

(2) 社会的事象の見方・考え方を働かせる指導の工夫

- ・時間の変化から問いを見出す指導の工夫
- ・対話的に学び、多角的に考えるための工夫
- ・学びの振り返りから社会認識を深める工夫
- ・問題解決的な中で対話的に学ぶための工夫

(1) (2) については、学習過程毎に以下のように考えた。

	目指す子供像の具体的な姿と見取りの方法	見方・考え方を働かせる「問い」	教材の工夫	学習活動などの指導法の工夫
つかむ	世田谷区の昔の様子や人々の生活の変化に関心をもち、疑問に思ったことや調べてみたいことを表現できる子 →ノート・発言	・昔、大八車や鍬は何に使っていたのか？ ・昔はどんな暮らしをしていたのか？ 【生活の道具などの時期による違い】	○時間的な視点の教材 ・等尺年表 ・150～100年前、70～60年前、今の土地利用図 ○実社会とつながる教材 ・大八車、鍬 ・約70年前に朝日新聞に連載された4コマ漫画「サザエさん」	○時間の変化から問いを見出す指導の工夫 ・100年前に地域でよく使われた道具に着目し問いを見出す。 ・土地利用図の変化から問いを見出す。 ○学びの振り返りから、社会認識を深める工夫 ・4コマ漫画から読み取った事(当時の暮らしの道具など)を出し合い、学習問題や予想を立てる。
しらべ	視点に沿った見学、体験、地域の方への質問からわかったことや、昔の人の思いを考え表現できる子 →見学メモ・ノート・発言	・昔の道具にはどんな物があるのか？洗濯板はどうやって使ったのか？【生活の道具】 ・いつごろどんな暮らしをしていたのか？どんな思いだったのか？ ・町の様子はどのように変わったのか？ 【市の人々の生活の様子】	○実社会とつながる教材 ・「サザエさん」の話 ・洗濯板体験 ・地域の昔の写真 ・等々力小の卒業生 ・文章資料 ○相互関係的な視点の教材 ・世田谷区の人口推移の棒グラフ	○問題解決的な中で対話的に学ぶための工夫 ・見学、体験、資料からわかった事や疑問を地域の方への質問を通して確かめる。 ○学びの振り返りから、社会認識を深める工夫 ・見学、体験、資料からわかったことや疑問を振り返り、全体で共有しながら考えられるようにする。
まとめ	地域での生活の変化について調べた事に基づいて自分の考えをもち、地域社会に対する親し	・世田谷区の人々の暮らしはどのように変わってきたのだろうか？ 【市や人々の生活の様子】	/	○対話的に学び多角的に考える工夫 ・年表に視点ごとにわかったことを位置づけ、関連について話

みをもととする子 →発言、ノート	の変かを捉え、表現する】		し合う。
---------------------	--------------	--	------

(3) 児童に育成させる資質・能力の評価方法の工夫

- ・ 単元構造図（問いの構造図）を活用した知識の獲得状況の評価

問題解決の過程の中で、子供がどのような知識を獲得できたのかについて単元構造図と照らし合わせて評価していく。

7 小単元の指導計画 (11時間扱い)

過程	ねらい (数字は時数)	○主な学習活動 問 問い ・ 予想される児童の反応	教師の指導・支援 (□留意点◎資料◇評価)
つかむ	①150～100年前(明治時代)と今を比べ、等々力の地域や人々の暮らしの違いに気付く。	<input type="checkbox"/> 問い 昔、等々力のどこの家にもあった大八車や鍬は何にどうやって使っていたのだろう。	◎大八車の絵と写真、鍬の実物 ◎等尺年表 ◎文章資料 □等尺年表に年号が入ったものを提示し、把握できるようにする。
		○今、どこの家庭にもある道具を挙げる。 ・ テレビ、洗濯機、掃除機、炊飯器、など ○150年～100年前に等々力のどこの家にもあった大八車や鍬を見て、何にどうやって使われていたのか話し合う。 ・ 鍬は今でもある。車は人が乗るか物を運ぶ道具か？	
		(文章資料) 今から百年以上昔には、今、等々力小学校のある場所は田や畑で農家の人たちが住んでいました。畑でとれた野菜などを朝暗いうちから大八車に積んで渋谷の市場に売りに行きました。子供も後押ししてから学校へ行きました。牛に引かせる時には蹄が割れてしまわないようにわらじをはかせました。帰りには町で下肥を汲んで持ち帰り、田畑の肥料にしました。	
		○資料からわかった事を確認する。 ・ 大八車は野菜を乗せて運ぶ道具。 ・ 100年前は農家の人がいた。 など ○明治時代の地図を見て、ほとんどが田畑で家が少なかったことを確かめる。今の地図と比べる。 ・ 家(黄色)が増えて、ほとんど畑(緑色)がない。 ・ 道がまっすぐに変わっている。 ○ わかった事・予想や疑問をノートに書く。	□わらじや蹄の絵図、下肥の意味を示す。 ◎明治の頃と今の土地利用地図 □変わらずにある目印になる物(神社やお寺)を確認する。
		100年前と今では、町の様子も住んでいる人の生活も大きく違っている。等々力は畑だらけで農家が多かった。昔はとても大変そうだった。大人も子供もがんばっていたようだ。	◇昔の地域の様子や生活に関心をもっている。【関・意】 (発言・ノート)

<p>②今と昔の道具や暮らしの違い、時間の経過と共に地域での生活が変化してきた事に気付き学習問題をたてる。</p>	<p>問い 昔は、どんな暮らしをしていたのか？他にも知りたい。</p> <p>○前時の学習を振り返る。 ○60～70年前（等々力小ができたころ）の地図と前時の地図を比べ、気付いた事を話し合う。 ・家が増えているが、畑はまだ多い。 ・道はまっすぐになっている。 ○漫画「サザエさん」について知る。 ・原作者長谷川町子氏は世田谷区に住み執筆。 ・サザエさんの住所は世田谷区新町三丁目で、戦後の昭和21年から28年間の様子がわかる。 ・朝日新聞に昭和24年から49年まで連載された。 ・現在もテレビや朝日新聞に採り上げられている。 ○1枚の挿絵から暮らしの道具や今との違いを見つける。 ・ちゃぶ台がある。・普段から着物を着ている。家族が7人一緒に住んでいる。 ○他の4コマ漫画を自由に観察して今との違いを見つける。見つけた事を伝え合い、学習問題をまとめる。</p> <p>約70年前、町の様子は100年前と違った。世田谷区では、だんだん道が変わって車が増えたり、道具が変わったりして便利になってきたのではないか。</p> <p>学習問題 世田谷区の人々の暮らしはどのように変わってきたのか？</p>	<p>◎第1時の「わかったこと、疑問や予想」をまとめたもの ◎昭和30年の土地利用図 ◎学校ができた時の写真 □等尺年表に前時と本時の地図（3枚）や絵を位置づけて提示する。</p> <p>◎教師が選んだ数話を掲示しておく。 ◇道具や暮らしの違いや変化に気付いて調べたいことをノートに書いている。【思】（発言・ノート）</p>
<p>③学習問題について予想をもち、学習計画を立てる。</p>	<p>○前時までの「わかったこと・調べたいこと」を振り返り、学習問題について予想する。 ○調べる視点を確かめ、どうやって調べるか考える。 ①道具の名前 ②いつごろ使われていたか ③用途（何に使うか？）④使い方 ⑤良さ（工夫） ・郷土資料館で調べる ・おじいさん、おばあさんに聞く ・お父さん、お母さんに聞く ・くわしい地域の人にインタビューする ・道具を使ってみる ○学習の振り返りを書く。</p> <p>昔のものはおもしろい。火鉢やたどんはどんなものか？どうして大八車など昔の物はなくなったのか？聞いたり、やってみたりして調べたい。</p>	<p>◎学習問題の表示と前時までの年表、地図、写真、絵 □生活や道具が「変わって来た」ことをおさえる。 □生活や道具について調べる視点を確認する。 □郷土資料館、次太夫堀民家園で実物を見たり、質問したりすることを伝える。 ◇学習問題に対する予想から学習の見通しをもつことができる。【思】（発言・ノート）</p>

調 べ る	<p>④社会科見学で予想を確かめ、暮らしの道具の変遷について知る。</p>	<p>問い 昔の道具にはどんな物があるのか？どんな暮らしをしていたのか？</p>	<p>○江戸時代の終わり～明治時代の世田谷の民家や代官屋敷、大八車、お櫃、釜、杓、火のし、炭アイロン、こてなどを観察する。</p> <p>○視点に沿って質問をする。</p> <p>○学習の振り返りを書く。</p>	<p>◎世田谷郷土資料館、次太夫堀</p> <p>□めあて「世田谷区の昔の暮らしについて予想を確かめたくさんの事を調べよう」を確認する。</p> <p>□質問事項をまとめたワークシートを用意</p> <p>◇ワークシートに視点に沿った内容をメモし、必要な情報を集めている。</p> <p>【資】 (発言・ノート)</p>
	<p>⑤見学でわかった事、さらに調べる事を確認する。</p>	<p>問い 郷土資料館で分かった事は何か？まだ分からないのはどんな事か？</p>	<p>○見学を振り返り、明治頃の家の様子について話し合う。</p> <p>○年表の年号を知る。</p> <p>○世田谷区の昔の暮らしについてわかった事、これから調べたい事をグループでまとめて発表し合い、全員で整理する。</p> <p>① 暮らしの道具についてわかった事</p> <p>② 暮らしの様子についてわかった事</p> <p>③ 暮らしの道具について調べたい事</p> <p>④ 暮らしの様子について調べたい事</p> <p>○次の時間に洗濯板を使ってみる事を知り、学習のめあてをもつ。</p>	<p>◎教科書の挿絵、見学の時の写真</p> <p>□等尺年表に年号を入れる。</p> <p>◎見学のノートや資料</p> <p>□事実と予想を区別し、わかった事やめあてに沿って調べられた事を認める。</p> <p>□①～④について一人一人が短冊に書き、グループで同じ物はまとめて発表する。</p> <p>□黒板に短冊を整理しながら貼る。</p> <p>□道具については5つの視点があった事を想起させる。</p>
	<p>⑥昔の道具には工夫があり、便利に使われていたことに気付く。</p>	<p>問い 洗濯板はどんなもので、どうやって使っていたのか？</p>	<p>○洗濯板の使い方を予想する。</p> <p>○地域の人に使い方を教えていただく。</p> <p>○実際にやってみる。</p> <p>○道具や暮らしについて質問しながら、地域での体験談や見聞きした経験談を聞く。</p> <p>○分かった事、振り返りをノートに書き発表する。</p>	<p>◎洗濯板、たらい</p> <p>□事前にゲストティーチャーと打ち合わせを行う。</p> <p>◇道具の使い方、工夫や良さに気付く事ができたか。【思】 (発言・ノート)</p>

昔の道具は木や鉄でできている。電気を使っていなかった。自分の力でやるが多かった。道具も暮らしもいろいろに変わってきて、今のようになった。

洗濯板で洗うとどのくらいきれいになるのか、早く使ってみたい。

洗濯板は溝があることできれいになる。両手で洗えて、持ち運べるのも便利。冬は冷たく時間がかかったけれどとても便利な道具として使っていた。

調 べ る	<p>⑦当時の生活の様子や思いについて読み取る方法を理解する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>問い 昭和30年頃洗濯板を使っていた人々はどんな思いだったのか？</p> </div> <p>○昭和30年頃の「サザエさん」の1話の漫画からわかることを話し合う。カードに付け足しの台詞や登場人物の思いを書き発表する。</p> <p>○これらの時代には、どんな暮らしをしていたのか考えた事をノートに書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>昔の人は、その時にある道具を使う事は大変ではなく当たり前だと思って生活していたのではないか。</p> </div>	<p>◎昭和30年代の暮らしの様子を描いた漫画から、何を表しているのか、登場人物がどんな思いなのか丁寧に読み取らせる。</p> <p>◇挿絵や話から生活の様子を読み取っているか。【技能】(発言・吹き出しやノートの記述)</p>
	<p>⑧昭和30年前後の世田谷区での暮らしの様子を読み取り、質問を考える。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>問い 昭和30年頃、世田谷区の人々の暮らしはどんな様子だったのだろうか？</p> </div> <p>○前時の方法で、グループごとに違う話を読み取り、わかったことを発表し合う。</p> <p>○それぞれの発表を聞き、昭和30年頃についてどんな道具を使いどんな思いだったのか考え、自分なりにノートにまとめる。</p> <p>○当時の生活について質問を考えてノートに書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>昭和30年頃に次第に電気を使うようになったが、今とは違う物を使っていた。人々はその頃出て来た新しい道具にあこがれていた。</p> </div>	<p>◎教師が選んだサザエさんの数種類の話とワークシート</p> <p><input type="checkbox"/> どんな道具を使ってどんな暮らしの様子か、どんな思いか読み取るようにさせる。</p> <p><input type="checkbox"/> 出て来た道具の変化を短冊に書いておく。</p> <p>◇資料から昔の生活の様子について適切に読み取っている。【技能】(ワークシート、ノートの記述)</p>
	<p>⑨昭和30年頃の地域の人の暮らしの様子を調べ、道具の変化との関連に気付く (本時・3-1)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>問い 昭和30年頃、世田谷区の人々の暮らしはどんな様子だったのだろうか？</p> </div> <p>○昭和30年前後の生活についてわかった事、予想を話し合う。</p> <p>○等々力小が出来た当時(昭和31年)の先輩、鈴木さんを迎え、挨拶する。その頃の生活や遊び、町の様子についてお話を聞き、質問する。</p> <p>○今の自分たちの生活と比べて、わかった事・振り返りを書いて発表し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>昭和30年頃、地域の様子は今とはずいぶん違い、畑が多く道路は舗装されていなかった。学校は子供が多すぎて2部制だったので等々力小学校ができた。テレビ、冷蔵庫、洗濯機など家庭電気製品が出て来て今の生活に近づいてきた。その後も家庭の道具は変わり、家事の時間が減った。道具だけでなく町も変わり、今のようになってきた。</p> </div>	<p>◎ゲストティーチャーの方</p> <p><input type="checkbox"/> 自己紹介していただき、児童からも挨拶。教師が質問して対話しながら進める。</p> <p><input type="checkbox"/> 児童も質問できるように進行させる。</p> <p>◎当時の町の様子の写真(鈴木さん提供)と学区地図</p> <p>◇予想に沿って、必要な事を質問している。【資料活用】(発言)</p> <p>◇道具の変化と生活の様子の変化を関連づけて捉えている。【知識理解】(ノート)</p>

調 べ る	<p>⑩地域の様子の変化について調べ、人口の変化と関連づけて捉える。</p>	<p>問い 町の様子はどのように変わって来たのか？</p> <p>○1枚目と2枚目の地図の変化を確かめ、気付いた事を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鈴木さんは空き地が多かったと言っていた。 ・地図の黄色（住宅）が増えているから、住む人が増えたのではないか。 <p>○人口の棒グラフを見て、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100年くらい前（大正時代）から増えている。 ・地図の1枚目と2枚目の間に10倍以上増えている。 ・150年前から今までに30倍以上増えている。 <p>○文章資料を読み、内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>大正の終わりころから急によそから世田谷地域に移り住んで来る人が増えてきました。畑だったところが売られ家がたつようになっていました。昔からずっと畑で、野菜などを作っていたところをもっと住みやすく変えようと住んでいる人みんなが考え、話し合っ決めて決めたのです。東の方に田園調布がありその発展している様子を参考にして道路や水路をつくりかえ、田畑にはもっと作物がとれるように手入れをしました。工事が終わるまでには30年間かかりました。</p> </div> <p>○わかったことや振り返りを発表し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>昔住んでいた人たちが30年もかけて、がんばって町を変えていた。田畑の多い場所に道路をまっすぐに通したりして、住みやすい町になってきた事がわかった。引っ越して来る人が増え子供も増えて、等々力小学校ができた。</p> </div>	<p>◎当時の地域の写真</p> <p>◎等尺年表と3枚の地図</p> <p>◎人口の変遷の棒グラフ</p> <p>◎教師作成文章資料</p> <p>□関東大震災が大正12年にあったこと、田園調布の位置など、3年生にわかりやすいように補足説明する。</p> <p>□児童の「分かった事」の言葉を元に、町の様子の変化を3つの時期ごとに短冊にまとめる。</p> <p>◇地域の様子の変化を人口の増加と関連づけている。 【思考・判断】（ノート）</p>
ま と め る	<p>⑪地域の暮らしの移り変わりについて自分なりに表現し、よりよい生活への願いや努力を考える （本時・3-3）</p>	<p>学習問題 世田谷区の人々の暮らしはどのように変わってきたのだろうか？</p> <p>○学習問題について考えをまとめるために、みんなで「くらしの様子年表」を完成させる事を知る。</p> <p>○どんな事がどのように変わって来たかについて振り返り、書き込む内容を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具 ・町 ・人々の生活 <p>○関連している事について話し合い。</p> <p>○それぞれの時代の人々の願いや努力を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間を大事にしてきた。 ・いつも工夫してきた。 ・その時ある道具を大変だと思わず当たり前だと思って使ってきた。 ・よりよく生活しようと考えてがんばった。 <p>○学習問題についてノートにまとめ、発表し合う。</p>	<p>◎等尺年表と3つの時代区分の地図、写真、絵</p> <p>◎年表のワークシート</p> <p>□等尺年表に入れる出来事の意味をグループで交流する。</p> <p>□なぜそう思うのか理由もつけるようにさせる。</p> <p>◇調べた事を年表にまとめ、地域の人々の願いや努力に気付いて表現している。【理解】（ワークシート・発言）</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>世田谷区の人々の生活はそれぞれの時代によって様子が違う。人口が増え住宅や学校ができて畑が減った。道路も造り替えられ生活が変わってきた。地域の人々はいつの時代もその時にある道具を工夫して使い、よりよい暮らしを願って生活してきた。</p> </div>			

8 本時の指導（9／11時）

（1）本時のねらい

昭和30年頃の地域の人々の生活の様子や地域の様子を調べて今との違いを理解する。

（2）本時の展開

時間	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◎資料 □指導上の留意点 ◇評価
5分	<p>問い 等々力小ができた昭和30年ころの等々力での暮らしは、どんな様子だったのか？</p> <p>○前時にわかった事予想した事を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気・ガスが通っていた。まだどこの家にも洗濯機やテレビなどがあるわけではなかった。 ・家の仕事に時間がかかっていた。 ・子供はいろいろとお手伝いしていた。 	◎前時のまとめの掲示物
20分	<p>○ 等々力小学校ができたときに小学生だった鈴木さんを迎え、挨拶をする。昭和30年頃の生活や町の様子についてお話を聞き、質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今と違う道具を使っていましたか？」 ・「鈴木さんが当時と今の暮らしとでは変わったと思う事はどんな事ですか？」 ・「学校生活や放課後の遊びにどんな思い出がありますか？」 ・「どんなお手伝いをされましたか？」 ・「その頃の町の様子は今と違いますか？」 	<p>◎ゲストティーチャーの鈴木さん</p> <p>□自己紹介していただき、児童からも挨拶する。教師がまず質問し、関連する質問を児童から行うように進行させる。</p> <p>◎当時の町の写真（鈴木さん提供）と学区地図</p> <p>□聞き取り用のワークシートを用意する。</p> <p>□G Tの話から大事なキーワードを板書する。</p>
15分	<p>○自分たちの暮らしや今の等々力の町と比べて、わかった事をノートに書き発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鈴木さんのころは今の道具に近づいてきた。 ・電気製品が出て来て、暮らし方も変わった。 ・道路はまだ舗装されていなかったし車も少なかった。 ・まだ家電製品は普及しておらず、子供はお手伝いした。 ・そのころ畑や空き地があり今とは違う遊びをしていた。 ・住む人が増えて等々力小ができた。 など 	<p>□自分たちの生活と比較し、違う事・似ている事を考えて書くように助言する。</p> <p>□児童の書いた内容を確認し、ゲストティーチャーに伝えるように促す。</p>
5分	<p>○鈴木さんの感想をお聞き、お礼と挨拶をする。</p> <p>○振り返りを書く。</p>	◇道具や地域の様子、生活の様子の今との違いを捉えている。【知識・理解】（発言・ノート）

本時の指導（11/11時）

（1）本時のねらい

暮らしの道具や地域の変化と地域の人々の生活との関連を考え、暮らしの移り変わりについて表現する。

（2）本時の展開

時間	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◎資料 □指導上の留意点 ◇評価
5分	<p>学習問題 世田谷区の人々の暮らしはどのように変わってきたのだろうか？</p> <p>○学習問題を確認する。年代の下が空欄になっている等尺年表に、今まで調べてきた地図や写真、人口グラフを置く。今まで調べてきた事を加えて「暮らしの様子年表」を完成させるめあてをもつ。</p>	<p>◎書き込みできる等尺年表（提示用）</p> <p>□約100年前、約70年前、今の3つの時期ごとに地図や写真、絵、グラフを置く。</p>
8分	<p>○3つの時代区分ごとに、どんな事があったか振り返る。</p> <p><道具>火鉢→ガスストーブ→エアコン など</p> <p><町>ほとんどが田畑。→家が増えた。道路をまっすぐに変えた。学校ができた。→ほとんどが住宅。舗装された道路。車が多い。など</p> <p><人口>3万人代→30万人代→90万人代</p>	<p>□書き込む項目を確かめる。</p> <p>これまでの掲示物や資料を参考にするように助言する。</p> <p>□前時までに短冊に書いたものを貼る。</p>
25分	<p>○それぞれの時代にはどんな生活だったか話し合い、グループでまとめる。</p> <p><生活></p> <p>明治・大正：野菜などを作って売る農家。大八車で運ぶ。子供も手伝う。</p> <p>昭和：家族が多い。農家の人も会社務めの人もある。電気を使うようになってきた。道具を工夫して使っていた。</p> <p>今：電気を使う物がほとんど。自動化されて時間が増えた。農家の人は少なくなった。昔より家族はばらばらに生活している。</p> <p>○全体で意見交流しながら、黒板の年表を完成させる。</p> <p>○学習問題について自分の考えを書き、発表し合う。</p> <p>・世田谷区の人々の生活はそれぞれの時代によって様子が違う。人が増えて町の様子は畑だったところが住宅に変わった。道路も造り替えられ生活が変わってきた。道具も電気を使うようになって変わり、暮らし方も変わった。</p>	<p>□3区分の時期（約100年前・約70年前・今）ごとに書くワークシートの枠を用意する。</p> <p>□学習問題について、黒板の年表を元に自分の言葉でまとめるようにさせる。</p> <p>◇地域の人々の生活の変化について調べた事に基づいて考えをまとめて表現している。【思考・判断・表現】</p>
10分	<p>○今までの学習の振り返りを書く。</p> <p>・これからも昔の事を調べてみたい。</p> <p>・いつの時代の人もがんばってきたから今のように変わってきた事がわかった。</p>	<p>□時間を大事にしていつも工夫してきた事、その時にある道具を大変だと思わず当たり前だと思って使ってきた事、よりよく生活しようと考えてがんばってきた事などを想起させる。</p> <p>◇地域の歴史に関心を深めている。</p> <p>【関心意欲態度】</p>